

ハンザクラスとは

ヨットの中でも小型の1～2人乗りのものを『ディンギー』と呼びますが、これは簡単に操れるものではありません。そこで、オーストラリアのクリス・ミッシェル氏が『誰でも乗れるように』と考案したのがハンザです。

このハンザは、子どもから高齢者の方、障がい者の方も難しい練習などをせずに簡単に帆を操って船を走らせることができます。



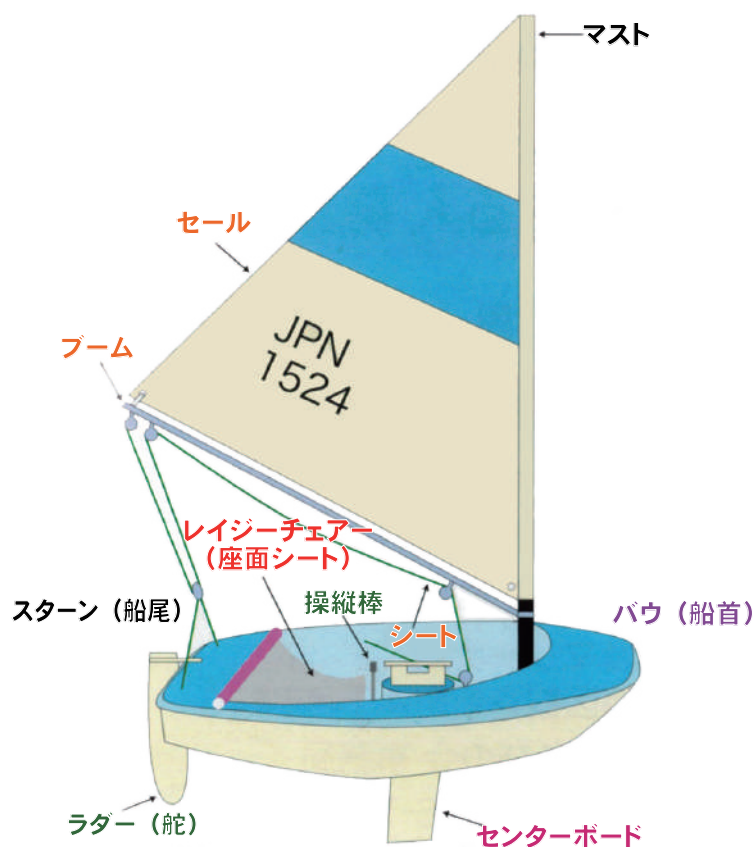
ハンザを考案した
クリス ミッシェル 氏



誰でも難しい練習をせずにヨットを走らせることができます

ハンザの操作・安全性

ハンザの各部分の名称



ハンザは、側面に備えつけられているナイロン製の**レイジーチェアー**というハンモックのような椅子に座り操作をします。操縦者はヨットの深い位置に座ることとなり、とても安定し操縦しやすくなっております。

また、水面下に重い**センターボード**を備えているので、転覆の心配がありません。そのため、安全かつ安定した帆走を楽しむことができます。

ハンザは**バウ**（船首）に向いて2人並んで座ることができ、操作も**操縦棒**と**シート**のみで帆走できます。

操縦棒の操作は、**ラダー**（舵）に伝わり、**操縦棒**を右に傾けると帆走中のハンザが右に回る仕組みになっています。

シートの操作は、**ブーム**を通して**セール**に伝わるため、手元の**シート**を引いたり緩めたりすることで**セール**の出し入れが可能です。

また、手を使って思い通りに操作できな方でもサーボモーターと呼ばれる電動サポート機器を使うことで操作・帆走できます。